

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○工事

CLT パネル工事施工計画書

○○○○年○○月

設計・監理○○○○○○○○			

施工 ○○○○○○○○○○○			

施工 ○○○○○○○○○○○			

本施工計画書は、日本 CLT 協会の施工合理化 WG（中高層）で検討した、サンプルになります。
本施工計画書をご使用頂く際には、計画書内容を確認し、利用者の責任において、ご活用ください。
（使用に対して当協会では、一切の責任は負いかねますので、ご了承ください。）

目 次

第1章	総 則	
1.1	適用範囲	P.1
1.2	適用図書	P.1
1.3	参考図書	P.1
1.4	協議	P.1
1.5	関係者への周知徹底	P.1
第2章	一般事項	
2.1	工事概要	P.2
2.2	CLT 工事概要	P.2
2.3	施工管理体制	P.3
2.4	工程表	P.4
第3章	施工計画	
3.1	CLT 建て方平面計画概要	P.5
3.2	CLT 建て方断面計画	P.6
3.3	使用材料	P.7
第4章	搬入計画	
4.1	概要	P.8
4.2	搬入車両	P.8
4.3	発送、搬入	P.8
4.4	荷下ろし	P.8
4.5	部材置き場	P.8
4.6	保管	P.8
第5章	搬入計画	
5.1	施工フロー	P.9
5.2	加工及び組立て	P.10
5.3	基準図	P.11
第6章	品質管理	
6.1	検査・記録	P.14
6.2	施工精度	P.15
6.3	施工品質管理表	P.16
第7章	安全・環境保全	
7.1	安全衛生管理	P.17
7.2	環境保全	P.18

添付資料

第1章 総則

1. 1 適用範囲

本施工計画書は、○○○○○○○○○○○○○○○○工事の内、CLT 工事に適用する。

1. 2 適用図書

- (1) 現場説明に対する質問回答書
- (2) 現場説明書
- (3) 特記仕様書
- (4) 設計図
- (5) 民間（旧四会）連合協定工事請負契約約款に適合した工事共通仕様書（建築工事編）
（平成 25 年版）1 章[一般共通事項]
- (6) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築木造工事標準仕様書（平成 31 年版）

1. 3 参考図書

- (1) 建築工事標準仕様書・同解説 JASS11 木工事（2005年版）（日本建築学会）
- (2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 建築工事監理指針（令和元年版）
- (3) 直交集成板の日本農林規格（平成 25 年度農林水産省告示 3079 号に基づく）
- (4) 日本住宅・木材技術センター CLT 関連告示等解説書（2016 年公布・施行）
- (5) 日本住宅・木材技術センター CLT を用いた建築物の設計施工マニュアル（2016 年版）
- (6) 日本 CLT 協会 実務者のための CLT 建築物設計の手引き（2019 年版）
- (7) 日本建築センター 大断面木造建築物設計施工マニュアル

1. 4 変更及び追加

本施工計画書の記載事項に変更が生じた場合、又は内容に質疑が生じた場合並びに記載事項が無い場合については、監理者と協議の上、承認を受ける。

1. 5 関係者への周知徹底

監理者の承認済みの本施工計画書は、監理者および施工管理者が保管する。施工管理者はその複写を協力会社などの関係者に配布するとともに、説明会等によりこの内容を周知徹底する。

第2章 一般事項

2. 1 工事概要

工事名 ○○○○○○○○○○○○工事
 工事場所 ○○○○○○○○○○○○
 工期 ○○○○年○○月○○日～○○○○年○○月○○日
 敷地面積 ○○○○m²
 建築面積 ○○○○m²
 延床面積 ○○○○○m²
 規模 地上○○階
 構造 ○○○○造
 用途 ○○○○○○○○○○○○

2. 2 CLT 工事概要

- (1) 施工期間 ○○○○年○○月○○日～○○○○年○○月○○日
 (2) 施工業者 ○○○○○○
 (3) 概算 CLT 数量

工事の概算 CLT 数量を表 2.2.1 に示す。

なお、CLT の種別は設計図による。

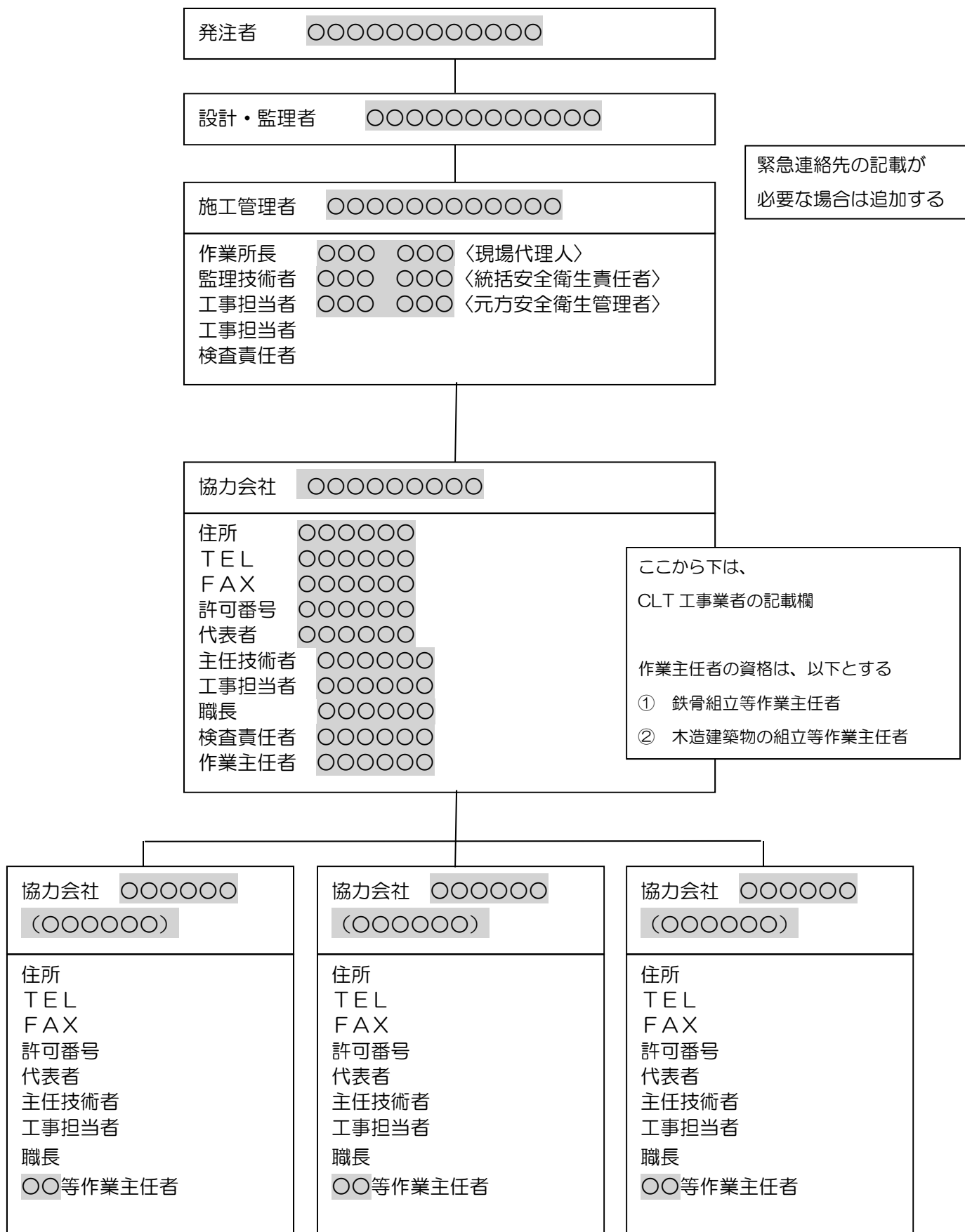
表 2.2.1 概算 CLT 他木構造数量

部位別 \ 種別	CLT	集成材	その他木質材料
壁 (t=150 mm)	224.333 m ³		
床 (t=210 mm)	245.366 m ³		
柱		2.000 m ³	
梁			8.603 m ³
計 (m ³)	469.699 m ³	2.000 m ³	8.603 m ³

2. 3 施工管理体制

工事の施工管理体制を表 2.3.1 に示す。

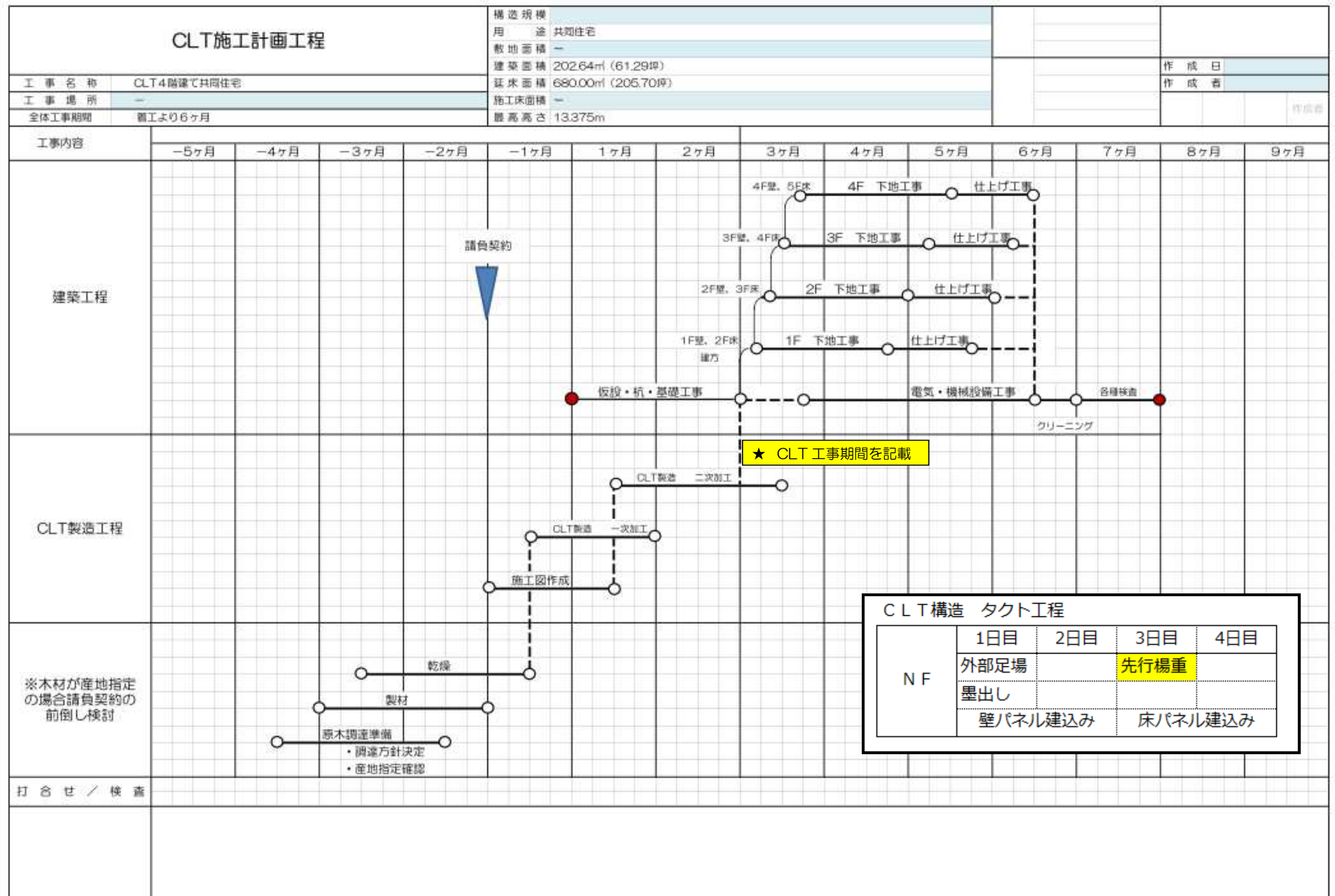
表 2.3.1 施工管理体制（組織表）



2.4 工程表

全体工程を表 2.4.1 に示す。

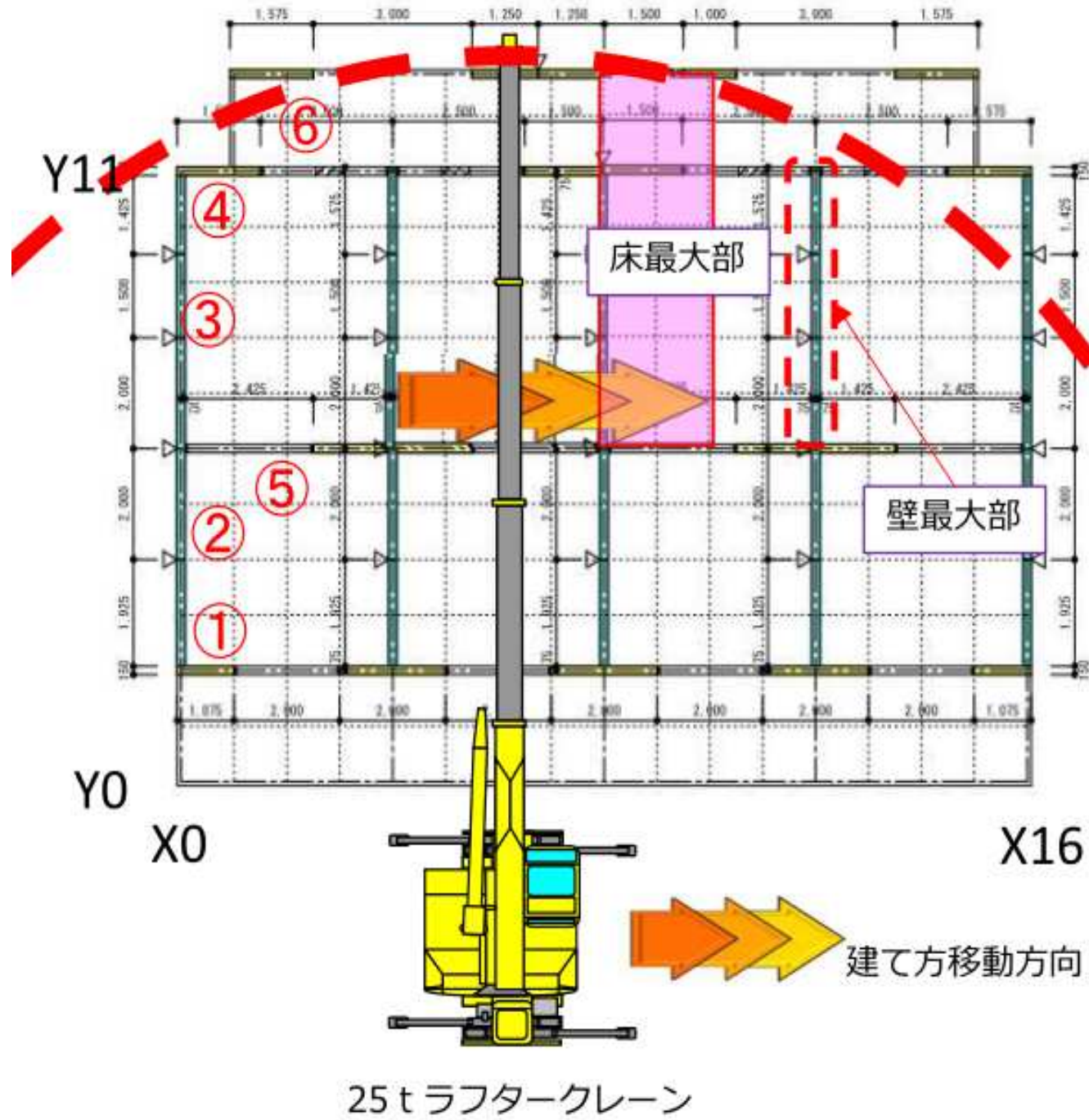
表 2.4.1 全体工程表



第3章 施工計画

3.1 CLT建て方計画概要

基準階CLT建て方計画概要を図3.1.1に示す。



- 1) 建て方方向はX0通り～X16方向へ
- 2) 壁、まぐさ・梁を先行で建てる
- 3) 建て入れ直し、仮締め完了後、床の架設

CLT 重量積算・・・最大製品重量

	W	H	D	比重	重量(t)
壁CLT	5.000	2.890	0.150	0.380	0.824
	W	L	D	比重	重量(t)
床CLT	2.500	6.825	0.210	0.380	1.362

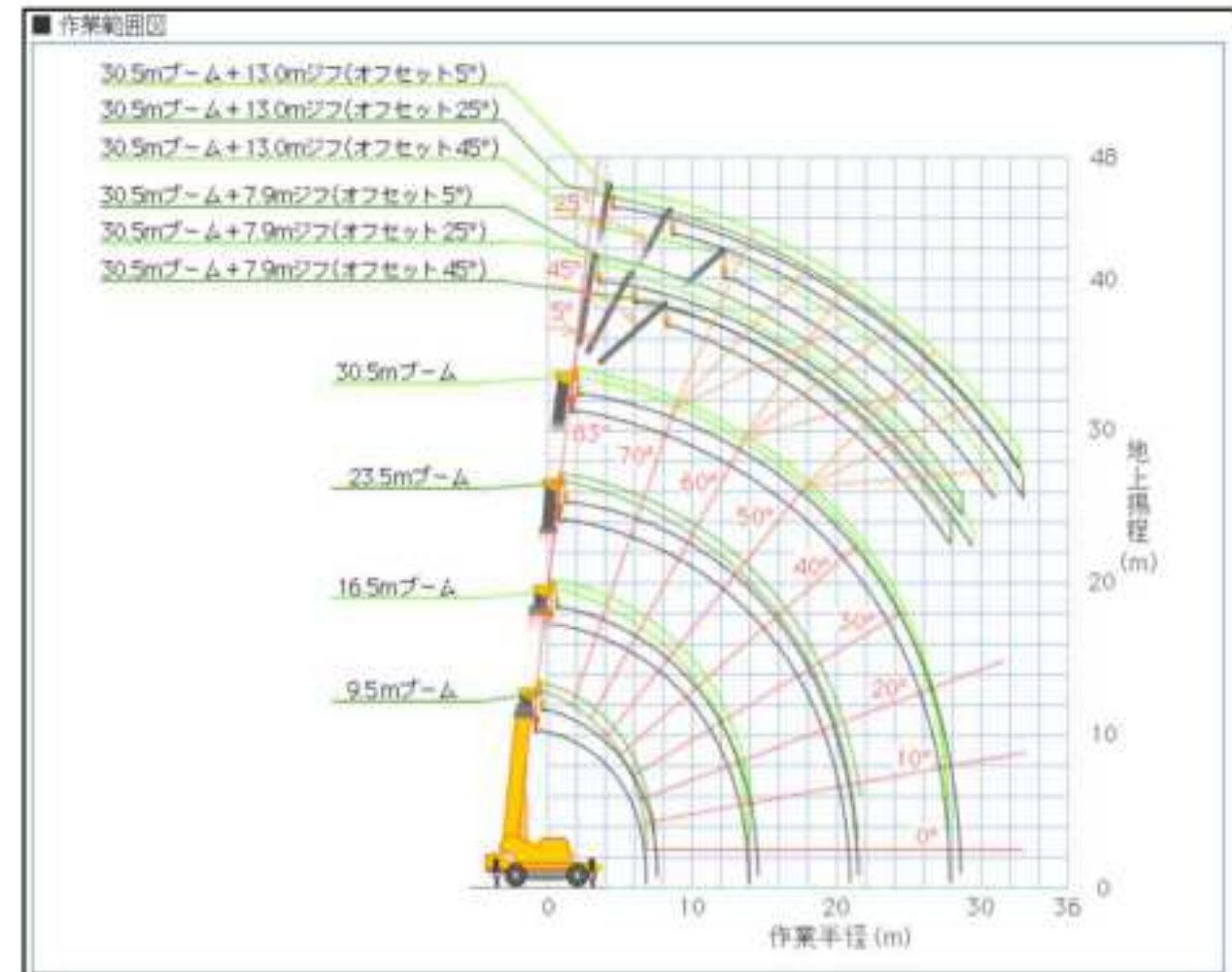


図3.1.1 CLT建て方計画概要

3. 2 使用材料

(1) 各種の使用材料

各種材料及び取り扱いについては下記を基準とする。

① CLT 材料；・・・・・・〇〇〇〇〇〇を下記の表〇〇〇に記す

② 木部保護塗料；・・・・・・〇〇〇〇〇〇を下記の表〇〇〇に記す

③ 木部の防腐・防蟻処理剤；・・・・・・〇〇〇〇〇〇を下記の表〇〇〇に記す

④ 他の木質材料；・・・・・・〇〇〇〇〇〇を下記の表〇〇〇に記す

⑤ 接合金物(製作金物)；(例) JISG3101 SS400
 (例) JISH8641 HDZ55(溶融亜鉛めっき)
 ・・・・・・・〇〇〇〇〇〇を下記の表〇〇〇に記す

⑥ 固定接合ボルト・ナットなど；・・・・・・〇〇〇〇〇〇を下記の表〇〇〇に記す

本工事で使用するCLTの樹種、強度等級等を表3.3.1に示す。

表3.3.1 CLTの樹種、強度等級

種別	樹種、強度等級	産地指定(※指定がある場合)
壁	ヒノキ S90-5-5	高知県産材
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇

本工事で使用する木部保護塗料の種類を表3.3.3に示す。

表3.3.3 使用する保護塗料の種類

部位	仕様	製品名	メーカー
壁CLT	#〇〇〇	〇〇〇	〇〇塗料

本工事で使用する木部防腐・防蟻処理剤の種類を表 3.3.4 に示す。

表 3.3.4 使用する防腐・防蟻処理剤の種類

部位	仕様	製品名	メーカー
壁 CLT	表面処理用木材保存剤	〇〇〇	〇〇塗料

本工事で使用する他の木質材料の種類を表 3.3.5 に示す。

表 3.3.5 使用する他の木質材料の種類

部位	樹種	強度等級
母屋	スギ 構造用集成材	対象異等級構成 E65-F225

本工事で使用する接合金物(製作金物)種類を表 3.3.6 に示す。

表 3.3.6 使用する接合金物(製作金物)の種類

部位	鋼種	溶接、防錆処理
〇〇〇	SS400	隅肉溶接、溶融亜鉛めっき

本工事で使用する固定金物(ボルト・ナットなど)種類を表 3.3.7 に示す。

表 3.3.7 使用する固定金物(ボルト・ナットなど)の種類

部位	規格
〇〇〇	アンカーボルト JIS B 1220 ABR490
〇〇〇	

第4章 搬入計画

4. 1 概要

本搬入計画は、CLT 工事における CLT などの部材輸送から搬入を計画したもので、実施に際しては関係法令諸規定に従って、安全かつ丁寧に輸送し、第 3 者に十分に配慮した計画とする。

4. 2 搬入車両

(1) CLT

□○○○○株式会社 →→→→→→→→→→→ 現場
(○○県○○市) (○○県○○市)

(2) CLT 以外の木質材料

□株式会社○○○○ →→→→→→→→→→→ 現場
(○○県○○市) (○○県○○市)

(3) 接合金物

□株式会社○○○○ →→→→→→→→→→→ 現場
(○○県○○市) (○○県○○市)

4. 3 発送、搬入

- (1) 道路状況、及び交通規制を調査し、各種許可申請が必要な場合は、これを取得する。
- (2) 発送に際しては明細書を作成し、運搬中の変形、破損を生じないように注意して積込む。
- (3) 現場での入退場は、監督員の指示、及び作業所が配置した作業誘導員に従う。
- (4) 現場での入退場に際しては、第三者に対する安全を確保する。
- (5) 作業所が計画した搬入ルールについては遵守する。

4. 4 荷降ろし

- (1) 作業指揮者及び作業員を選任し、その指揮の元で荷卸し作業を実施する。
- (2) 玉掛け作業やフォークリフトなどを使用する場合は、有資格者によって行う。
- (3) 荷卸しに際しては、部材に汚れや損傷を与えないような措置を講ずる。

4. 5 部材置き場

別添 建方計画図参照。

4. 6 保管

- (1) 現場搬入された CLT、及び製材類は総合仮設計画に基づいた仮置きヤードで保管する。
仮置きする製品や地組されたパネルなどは、製品に汚れや損傷を与えないように地面に直接置かず平坦な場所に端角等を敷きその下に水平に保管する。
- (2) 現場に搬入された 接合金物は、総合仮設計画に基づいた仮置きヤードにて保管する。
製品に汚れや損傷を与えないように地面には直接置かず、平坦な場所にパレットやシート等を敷きその上に保管する。

第5章 施工
5.1 施工フロー

以下に施工フローを示す。

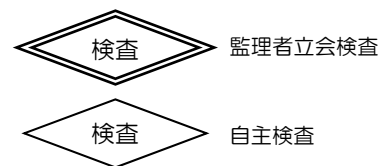
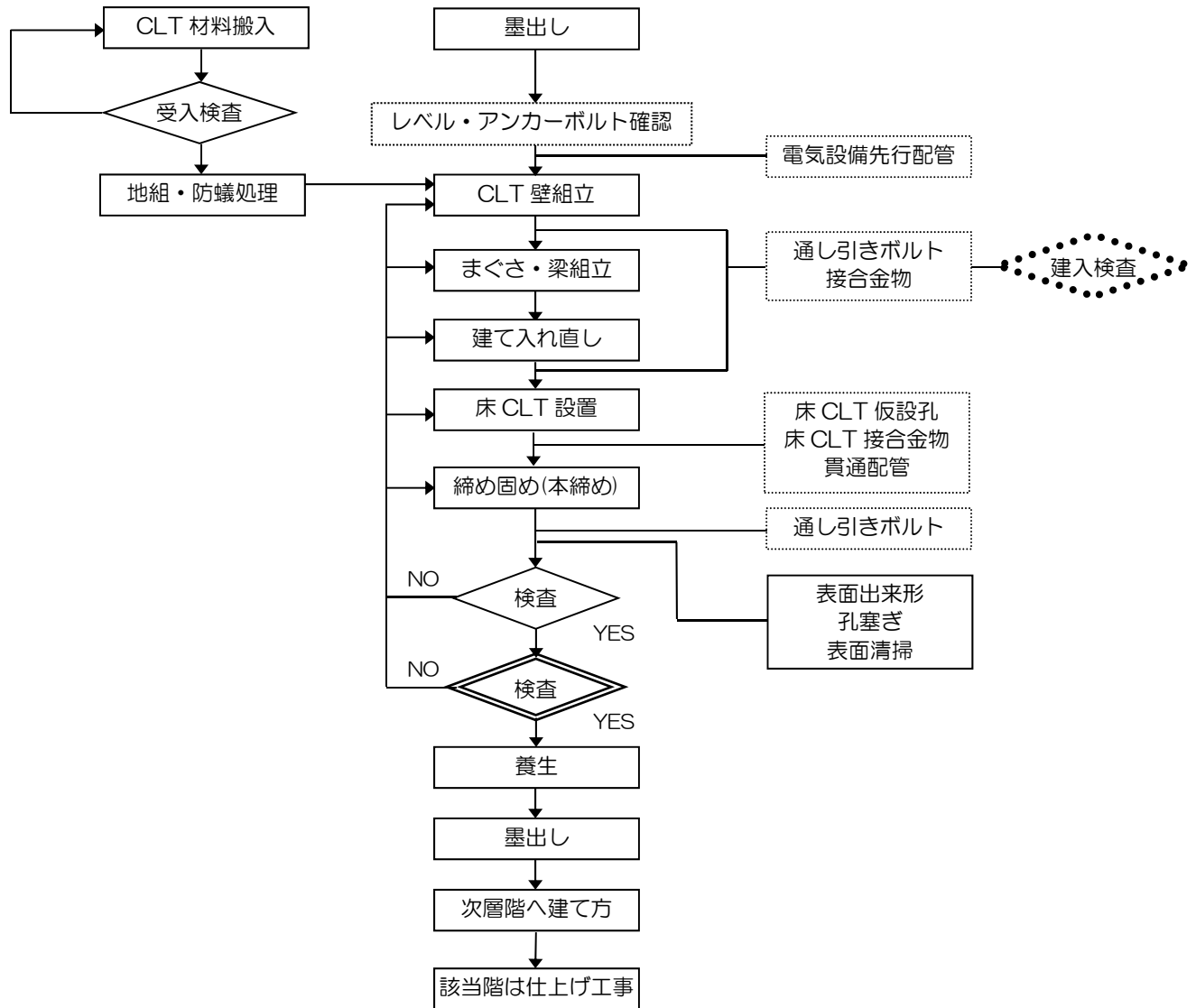


図 5.1.1 一般部の組立てフロー

5.2 加工及び組立て

(1) 墨出し

- ①基準墨出しについては、事前に実施計画・作業要領・検査の方法を決めてから実施する。
- ②使用するテープはスチール製のもので、JIS 一級品を使用する。
- ③測量に使用する器具機材は整備されたものを使用する。
- ④最初の床面に出した基準墨は、必ずチェックを行って完全なものとし、以後はこれを基準として各階床面に移していく。
- ⑤基準高さは敷地周辺に設けた建物全体の基準レベルから、直接レベルで移す。

(2) 現場地組加工

- ①加工場は材料の搬出入に支障がなく、加工作業に適した広さを有する場所を選ぶ。
- ②加工作業は CLT パネル割施工図、及び加工・組立て番付図に基づいて行い、吊り込み順に間違いがないように注意する。

(3) CLT 組立の一般事項

①共通事項

- (イ) CLT は施工図に示された CLT 部材の位置・形状及び寸法を基準にして、寸法どおりにかつ水平・垂直及び通りの精度よく建て込む。
- (ロ) CLT は建て方時の振動及び衝撃に耐え、かつ著しいひずみやくるいが生じないように堅固に組み立てる。
- (ハ) CLT は、足場、やり方等の仮設物と連結させてはいけない。

②CLT パネル

- (イ) CLT パネルは継目など隙間なく組立てる。

③その他

- (イ) ボルト・ナット・ラグスクリューなどの固定金物は、各仕様に基づいた取り付けを行い、締め過ぎないように注意する。
- (ロ) 使用する固定金物等については有害な損傷や欠陥のない物を使用し、所定の耐力を確保する。

(4) CLT パネル組立

①壁 CLT パネル

- (イ) 壁 CLT パネルの足元は、垂直精度の保持及び倒壊防止のため、建て方補助サポート支持材等によって仮固定する。
- (ロ) 壁 CLT パネルの垂直精度を保つため、梁部材を取り付ける前にチェーン・ワイヤーなどで控えをとり、変形しないようにする。
- (ハ) 壁 CLT パネルの脚部は通しボルトや金物等によって固定する。建込み中の倒れ・目違いなど無いように固定する。

②垂れ壁・腰壁

- (イ) 組立て中に自重によるたわみ、小梁の欠込部の変形等が起こりやすいので、添木などにより補強の処置をとる。
- (ロ) 底板と側板との取合は、壁 CLT などと段差、目違いが生じないように補助板などを使用し調整する。また、開口部位は落下養生を仮設するなどの措置を行い、安全に作業をする。

④床 CLT パネル

- (イ) 床 CLT パネルの施工は、基本的に揚重機の作業で行い、専用の吊り金具及びワイヤーなどを用いて行い、番付図に基づいた手順で施工する。張り終わった後、床配管を行う前に墨出しをして、インサート・スリーブ類の取り付けを正確に行う。
- (ロ) 補強支柱が必要な場合は補強支柱を垂直に立てる。なお、上下階の支柱は原則として平面上に同一位置とし、滑動防止処置を行う。また地盤に支柱を立てる場合は、地盤を充分締め固めるとともに、剛性のある板を敷く等支柱が沈下しないように処置する。

5.3 基準図

(1) 壁 CLT 組立て基準図を図 5.3.1 に示す。

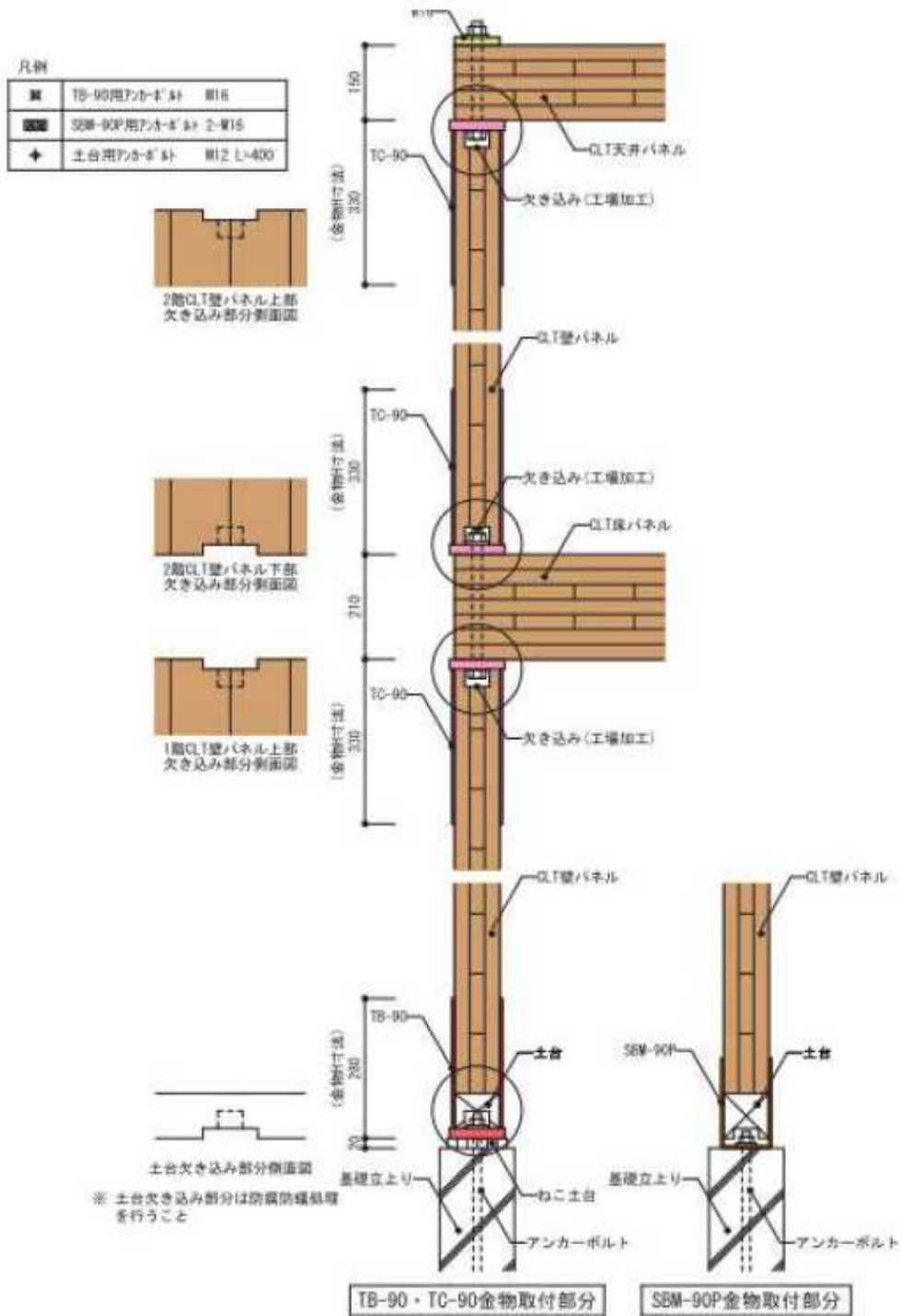


図 5.3.1 壁 CLT 組立て基準図

(2) 壁 CLT 開口部平断面図を基準図 5.3.2 に示す。

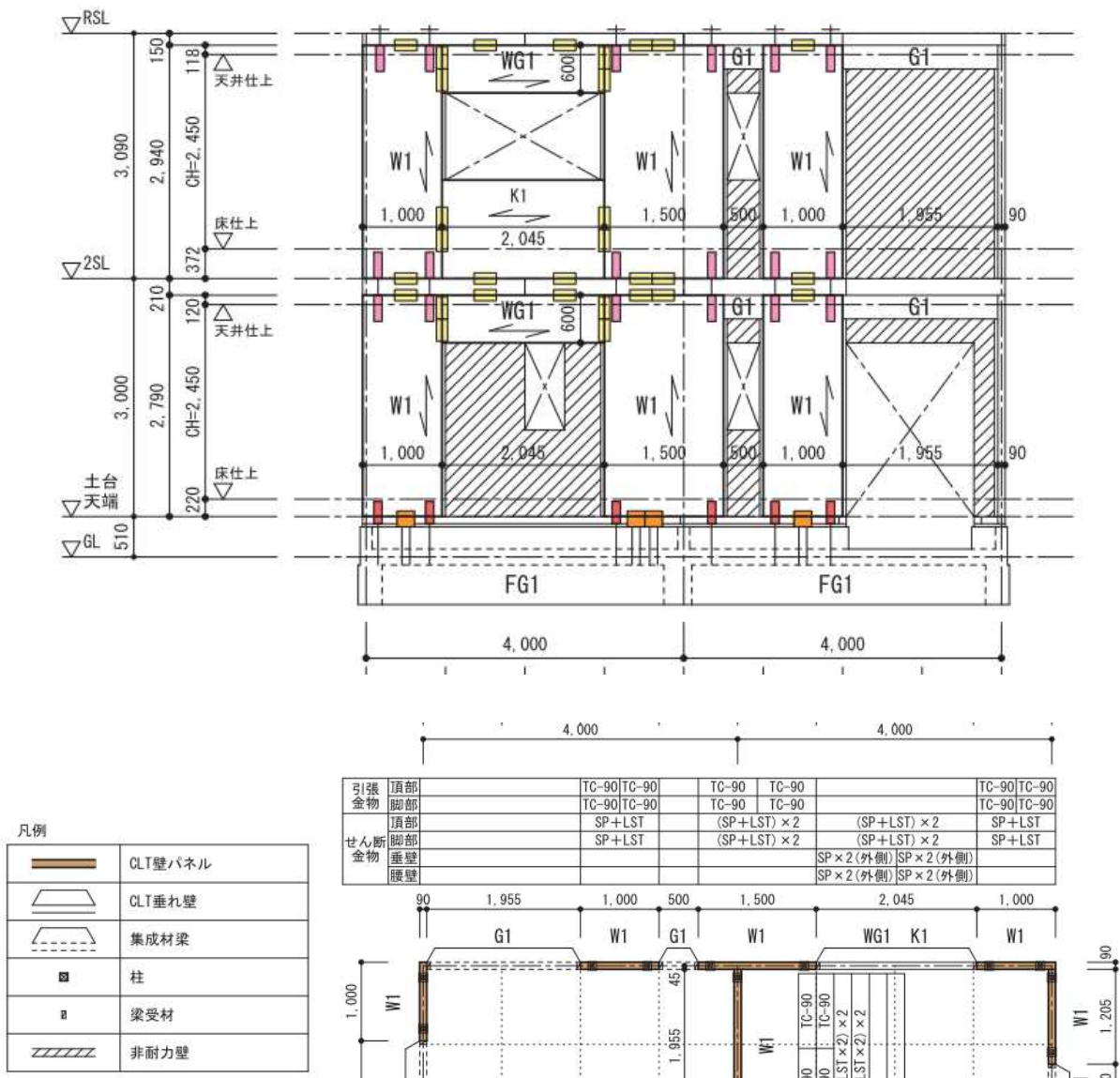
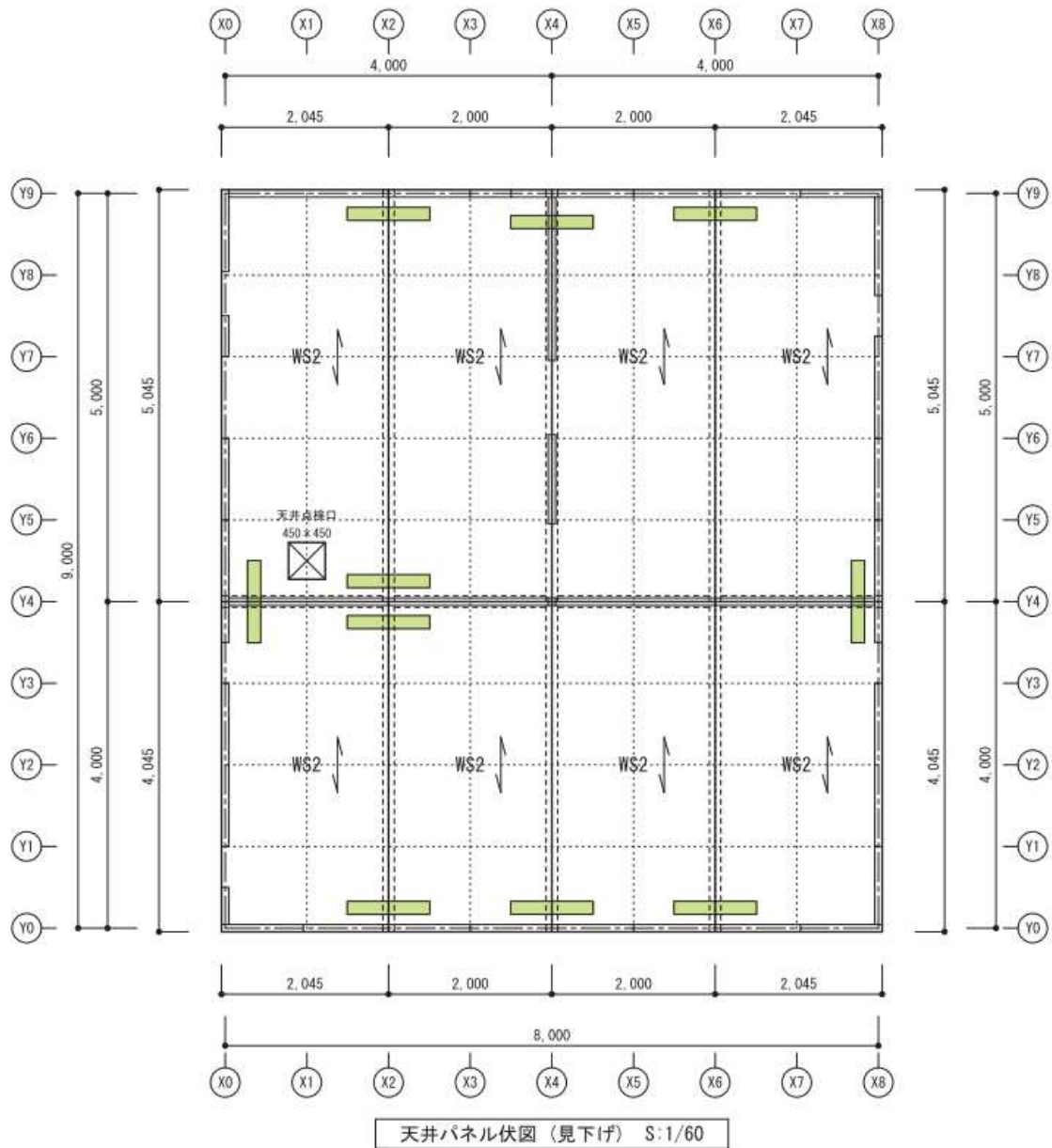


図 5.3.2 壁 CLT 開口部平断面基準図

(3) 床 CLT 平断面図を基準図 5.3.3 に示す。



凡例

	合板スプライン t=28 B=140 構造用合板 特種 2級
	帯金物 STF
	せん断金物 SP
	最外層ラミナ方向

部材リスト

部位	符号	断面	樹種・規格
CLT壁パネ	W1	3層3プライ t=90	スギ S60-3-3
CLT垂れ壁パ	WG1	3層3プライ t=90	スギ S60-3-3
CLT接壁パネ	K1	3層3プライ t=90	スギ S60-3-3
CLT床パネ	WS1	5層7プライ t=210	スギ Mx60-5-7
CLT天井パネ	WS2	5層5プライ t=150	スギ Mx60-5-5

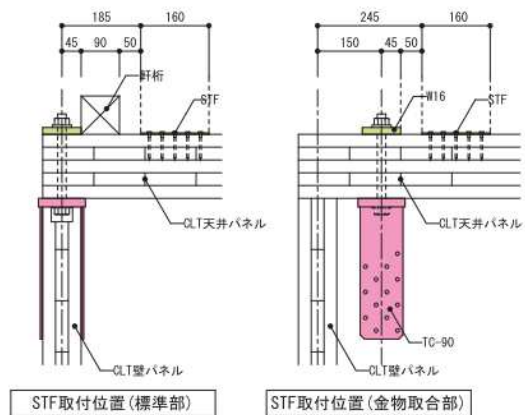


図 5.3.3 床 CLT 平断面基準図

第6章 品質管理

6.1 検査・記録

(1) 検査

- ①各検査は、表 6.1.1 に基づき CLT 施工工事が行った自主検査を工事担当者が抜取り検査し、適時、監理者の最終検査を受ける。検査表は、当計画書に添付した書式とする。
- ②不合格の場合は速やかに手直しを行い、監理者の再検査、確認を受ける。

表 6.1.1 CLT の材料・組立ての品質管理・検査

項目	試験・確認方法	時期・回数	判定方法
CLT・その他木質材料	目視、寸法測定、品質表示の確認	搬入時 組立て中随時	表 6.1.2の規定に適合していること
固定金物・アンカーボルトの位置・数量	目視及びスケール等による測定	組立て中随時 及び組立て後	CLT 建込み後、表 6.2.1 の規定値を満足する状態となっていること
建込み位置・精度	スケール・トランシット及びレベルなどによる測定		
開口寸法など	スケール・定規などによる測定		CLT 建込後、有効開口寸法が得られる状態になっていること

表 6.1.2 CLT 部材の寸法許容差

項目		寸法許容差
厚さ	75mm 以下	±1.5mm
	75mm 超	±2%
幅		±3.0mm
長さ		±3.0mm
表面における対角線の差		3.0mm 以下
曲げ		矢高が 2.0mm 以下
反り		辺長の 1/3000 以下

(2) 記録

下記記録を提出し、監理者の承諾を得る。

- ① CLT 工事検査表
協力会社が作成 ⇒ 施工管理者へ提出 ⇒ 設計・監理者へ提出
- ② CLT 建て後の表面出来形写真
施工管理者が作成 ⇒ 設計・監理者へ提出

6.2 施工精度

- (1) 建て入れ精度の検査方法及び判定基準は、表 6.2.2 により、検査は建て入れ精度を修正することが可能な時期に行う。

表 6.2.1 建て入れ精度の検査方法及び判定基準

	項目	検査方法	判定基準
壁	建込位置	基準墨とのずれをコンベックスなどで測定	±3.0mm
	傾き	下げ振り、スロープスケールなどで測定	±H/1000
	天端の高さ	レベルで測定	±3.0mm
	平坦さ（不陸）	定規で相対ずれを測定	±L/1000
	壁据え付け面 基礎高さ	レベルで測定	±3.0mm
床	建込位置	基準墨とのずれ、かかりしろなどをコンベックスなどで測定	±3.0mm
	天端の高さ	レベルで測定	±3.0mm
	平坦さ（不陸）	定規で相対ずれを測定	±L/1000

※Hは部材高さ、Lは水平長さを表す。

6.3 施工品質管理表
 施工品質管理表を表 6.3.1 に示す。

表 6.3.1 施工品質管理表

施工工程	管理内容	リスクの抽出	管理基準	管理（検査）方法	管理分担									管理基準 を外れた 時の処置	記録	
					協力会社			作業所			設計・監理者				資料	写真
					時期	頻度	担当	時期	頻度	担当	時期	頻度	担当			
施工計画	CLT 組立図・ 建て方計画図の作成		—	作業所長確認、 計算書含め監督署へ提出	施工 計画時	—	確認 (〇〇)	施工 計画時	—	作成 (〇〇)	—	—	—	修正する	作業所長確 認、計算書 含め監督署 へ提出	—
	施工要領書の作成		—	作業所長の承認	施工 計画時	—	作成 (〇〇)	施工 計画時	—	確認 (〇〇)	—	—	—	修正する	—	—
発注	接合金物の数量、時期		施工図による	施工図との照合	適時	—	確認 (〇〇)	適時	適時	確認 (〇〇)	—	—	確認 ()	発注し直 す	—	
墨出し	墨出し寸法精度		芯ずれ ±3mm以内	立会検査	墨出時	親墨出毎	確認 (〇〇)	墨出完了時	適時	確認 (〇〇)	—	—	確認 ()	修正する	CLT 工事 検査記録表	—
建て込み	CLT 建て入れ精度		表 6.2.3 による	レベル、トランシット、 下げ振り等で実測	組立後	全数	確認 (〇〇)	組立後	適時	確認 (〇〇)	組立後	適時	確認 ()	修正する	CLT 工事 検査記録表	—
	CLT 本締め検査		—	目視、施工図との照合	組立中 組立後	全数	確認 (〇〇)	組立後	適時	確認 (〇〇)	組立後	適時	確認 ()	修正する	CLT 工事 検査記録表	—
	CLT 美観検査		—	目視	組立後	現わし 部材	確認 (〇〇)	組立後	適時	確認 (〇〇)	組立後	適時	確認 ()	修正する	CLT 工事 検査記録表	—
	補強支保工		安全衛生規則 242 条による	目視	組立後	全数	確認 (〇〇)	組立後	適時	確認 (〇〇)	—	—	—	修正する	CLT 工事 検査記録表	—
	接合金物・アンカーボルトの 取付位置		施工図による	目視、実測	組立後	全数	確認 (〇〇)	組立後	適時	確認 (〇〇)	組立後	適時	確認 ()	修正する	CLT 工事 検査記録表	—

第7章 安全・環境保全

CLT 工事の着手に先立ち、前1.5の「関係者への周知徹底」にある当該計画書の内容の説明会において、本工事の作業手順及び工程等に則した安全管理及び環境保全への留意点に関しても併せて周知することで、災害の未然防止を図る。また、疑義についての協議・検討を行い、その実施記録を保管する。

また、当該工事期間中において、工事計画全般や作業手順・工程等について、当初計画に変更が生じた場合は、関係者へ漏れなく伝達し、その内容についての周知徹底を図る。

7.1 安全衛生管理

(1) 基本事項

安全衛生管理の基本事項に関しては、「総合施工計画書」第〇章安全衛生管理計画に準拠し、同計画書に定めた事項について、労働災害及び疾病の発生を未然に防止する活動を、協力会社と一体となって展開するとともに、万が一の発生時には迅速かつ適切な措置を行う。

(2) CLT 工事安全計画における留意事項

- ① CLT の加工・組立の作業は、服装は長そで、長ズボンとし、保護帽、安全帯を着装する。また、作業場所によっては必要に応じて、保護メガネ・マスクを使用する。
- ② 回転式電動工具（丸ノコ・卓上ノコ・電動ドリル等）を使用する際は、巻き込まれ災害を防止するために軍手は使用しない。
- ③ コンクリート釘を打ち込む際は、打ち損じた際の跳ねかえりや、水系張り作業時の災害防止のために、保護メガネを着装すること。
- ④ 材料の搬出入について、材料の荷崩れ防止措置を確実にを行い、荷台へ昇降する際は立ち馬や脚立を用いて転倒・転落のない手順で行う。
- ⑤ クレーンで材料を揚重する場合は、クレーン作業計画書を作成し、有資格者・作業員を適正に配置する。玉掛け方法の不良による荷崩れや飛来・落下災害防止対策や介錯ロープを適正な使用等作業計画書に基づいて作業する。
- ⑥ 電動工具の電源コードまたは電工ドラムの接続状況を点検し、漏電の恐れがないか確認する。（電工ドラムは漏電遮断機付きを使用する）
- ⑦ 作業エリア、加工場や材料置場は、関係者以外立ち入り禁止とし、責任者の名前等を掲載した標識を設ける。
- ⑦ 作業場周辺のアンカーボルトには、引っ掛かりつかずいて転倒しないようにキャップ等で養生する。
- ⑧ 低姿勢で作業する際は、アンカーボルトで目を突かないように保護メガネをする。
- ⑨ 壁パネルの建て込み作業で、クレーンを取り扱うときには、必ず二人以上で作業を行う。
- ⑩ 壁パネルの固定や梁・まぐさの建て込み等、下や横を仮止めする等無理な姿勢でバランスを崩し転倒しないように作業台は作業のしやすい場所にこまめに移動して使用する。
- ⑪ 接合金物を取り付ける際には、慣れた作業で足を踏み外したりしないよう作業者に合番者が声をかけ、足元をよく確認させる。
- ⑫ 端太材等長尺ものの材料を取り扱うときは、二人で作業するか、やむを得ず一人で長尺の材料を振り回す時は、まわりを注意し、声をかける。

- ⑬ 高所での建て方作業時は、締め付けの反動等でバランスを崩しやすいので、脚立、足場等確実に設置する。
- ⑭ 建込補助材は、放り投げない。また、安全通路部分に不用意に置かないで、直ちに片付ける。
- ⑮ 建て方作業手順をまもり、仮止め金物や補強支保工等のサポートは、無計画に外したり、引き抜いたりしない。また、固定金具等材料ごとに一か所にまとめて集積する。
- ⑯ 強風・大雨・大雪等悪天候時あるいは悪天候が予測される場合は、工事担当者との協議のうえ、作業の中止の可否を決定する。（2m以上の高所作業は禁止する）

7. 2 環境保全

(1) 基本事項

環境保全活動の基本事項に関しては、「総合施工計画書」等に別途環境計画を定め、建設副産物については発生抑制及びリサイクルの推進等により最終処分量の削減を図り、施工段階でのCO2排出量の削減並びに周辺環境の保全等についても、協力会社と一体となった作業所における環境配慮活動を展開する。

(2) 環境配慮活動の留意事項

- ① 作業場や場内の材料加工場で、CLTを切断して加工を行う際に出る切断粉や端材は、作業終了後速やかに清掃・集積し、袋詰めする等により場外への飛散防止対策を講じる。また、不要となったビスなどの金物類は、分別して廃棄する。
- ② 作業所で不要となったCLT建て方用補助材料を再度同じ用途に使用する場合に限り、有用物承認願を提出させ、元請安全担当者が立会いのもと有用物判断を行った上で承認する。これらに該当しない余剰材料は、建設副産物扱いとなるので、分別収集と排出を行い、協力会社が勝手に持ち帰らないよう徹底する。

添付資料

- ① 施工管理事項一覧表
- ② 自主検査記録書式
- ③ 作業主任者資格証一覧表 写し
- ④ 使用器具リスト
- ⑤ カタログ関係

※③、⑤については、各現場によるため、今回の参考資料としては添付していません。

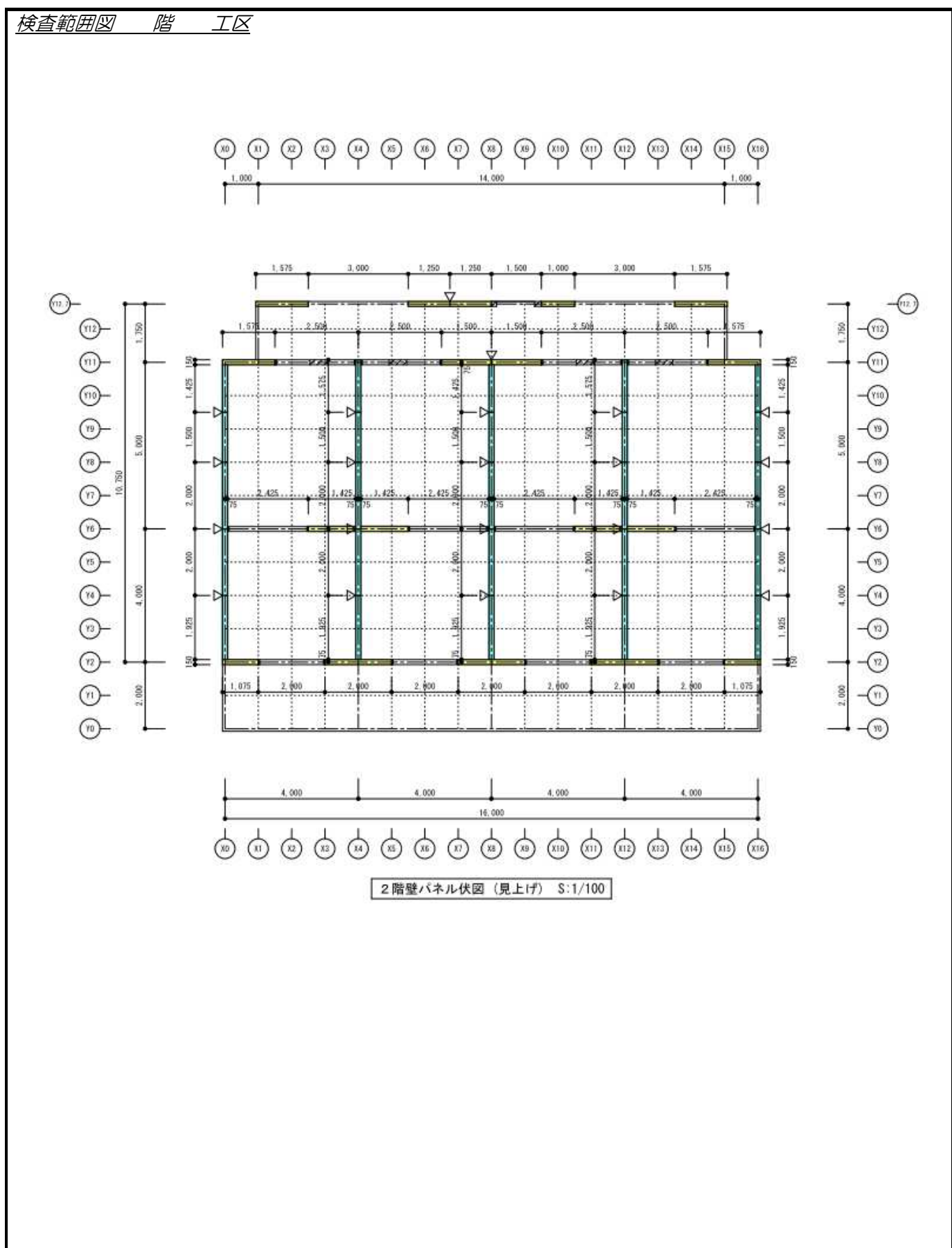
◎ゴシック体 管理事項一覧表に記載されている事項
 ☆ 当社標準仕様に表現されている事項
 ○ 設計図書に特記されている事項(作業所で記入する)

添付資料① 施工管理事項一覧表 (CLT 工事)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
	<input type="checkbox"/> 施工図のチェック <input type="checkbox"/> 境界線との寸法、BMの立会確認 <input type="checkbox"/> 教育(作業の要点・安全他) <input type="checkbox"/> 仮設、設備 <input type="checkbox"/> 取付下地の点検(アンカーボルト含) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">準備</div>	<input type="checkbox"/> 数量一覧表の作成 <input type="checkbox"/> 納入時期の計画 <input type="checkbox"/> 単価の検討 <input type="checkbox"/> 取極 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">◎打ち込み材料の確認(数量、時期)</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">共通事項</div> <input type="checkbox"/> CLT 面の出入り精度確認 <input type="checkbox"/> 各部材断面寸法精度の確認 <input type="checkbox"/> CLT 材の目違い確認 <input type="checkbox"/> 飛来落下に対する処置確認 <input type="checkbox"/> 工数の確認 <input type="checkbox"/>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">◎精度の確認</div> <input type="checkbox"/> 精度確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">◎埋込金物(寸法、位置)</div> <input type="checkbox"/> 接合金物の確認(ピッチ、開口部、出隅他) <input type="checkbox"/> CLT 壁と仕上げ工事内の清掃 <input type="checkbox"/>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">◎片持ちスラブ及び梁の精度確認(レベル、通り)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">◎接合金物(寸法、位置)</div> <input type="checkbox"/> 目地の範囲の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">バルコニー</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">パラペット</div> <input type="checkbox"/> はね出しスラブの目地 <input type="checkbox"/> オーバーフロー管の取付 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 目地の範囲の確認 <input type="checkbox"/> CLT 建入れ検査 <input type="checkbox"/> 締付金具の点検 <input type="checkbox"/> 仕上げ取付物の最終確認		
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">工法の検討</div> <input type="checkbox"/> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">材料の選定</div> <input type="checkbox"/> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">基本締付方法</div> <input type="checkbox"/>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">◎CLT 組立図の作成</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">◎製作要領書の作成</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">◎施工要領書の作成</div> <input type="checkbox"/> 組立作業主任者の選任 <input type="checkbox"/> CLT 図の作成 <input type="checkbox"/> CLT 計算書	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">(基本計画)</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">外壁建込</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">CLT 建込</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">まぐさ・梁建込</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">CLT 床版建込</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">建入れ直し・調整</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">本締め作業</div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">(労務計画)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">(転用計画)</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">◎各種材料の発注</div> <input type="checkbox"/> CLT 材料の検査 <input type="checkbox"/> CLT 材料の保管 <input type="checkbox"/> 緊結材の強度 <input type="checkbox"/>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">墨出し</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">◎基本墨の立会検査(レベル、柱心)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">◎各開口部の寸法位置の確認</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">◎小墨の確認</div> <input type="checkbox"/> 仕上げに対する逃げ墨 <input type="checkbox"/>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">◎建込精度の確認</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">◎接合金物(寸法、位置)</div> <input type="checkbox"/> 締め付け金物の確認(ピッチ、出隅他) <input type="checkbox"/> 位置ずれに対する処置(足元) <input type="checkbox"/> 通しボルトの被覆確認 <input type="checkbox"/> 清掃	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">内壁建込</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">◎建込精度の確認</div> <input type="checkbox"/> 精度確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">◎接合金物(寸法、位置)</div> <input type="checkbox"/> 締め付け金物の確認(ピッチ、開口部、出隅他) <input type="checkbox"/> 壁内の清掃	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">◎建込精度の確認</div> <input type="checkbox"/> 精度確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">◎接合金物(寸法、位置)</div> <input type="checkbox"/> 締め付け金物の確認(ピッチ他) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">◎接合金物(寸法位置)</div>	<input type="checkbox"/> 壁及び床廻りの保護養生 <input type="checkbox"/> 材料集積場所の指示 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">CLT 仕上精度 ◎☆</div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">(加工場計画)</div> <input type="checkbox"/> 位置、面積、設備の検討 <input type="checkbox"/>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">◎下拵え</div> <input type="checkbox"/> CLT 施工図の理解 <input type="checkbox"/> 加工図の確認、拵え物寸法チェック <input type="checkbox"/> 加工場施設と加工状況の確認 <input type="checkbox"/> 運搬についての検討 <input type="checkbox"/> アンカー類の先付け(入れ忘れの防止) <input type="checkbox"/> CLT 材の割付け及び補強材の確認	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">(数量調書の作成)</div> <input type="checkbox"/> 各階の CLT 数量 <input type="checkbox"/> 各種材料の数量 <input type="checkbox"/>						

添付資料② 自主検査記録

CLT 工事 検査記録					
工事名称					
年・月・日	年 月 日	検査箇所			
番号	指摘事項				修正確認日
					/
					/
					/
					/
					/
					/
					/
					/
					/
					/
					/
					/
					/
					/
					/
					/
					/
					/
					/
					/
					/
					/
					/
検査責任者	区分	修正指示日	合否判定日	合格押印	番号
	協力会社	/	/	印	～
	施工管理者	/	/	印	～
	監理者	/	/	印	～



添付資料④ 使用資器材明細表

工 具

用途	名称	規格	数量
部材移動	玉掛け用繊維スリング	4 t 用、2 t 用	各 2 本
墨付け	墨付け用具		一式
	スタッフ		適量
加工	電気ドリル（木工）	付属部品 木工用キリ各サイズ	2 台以上
	鉄工キリ		1 本
	大工道具		一式
	丸ノコ		1 台
	チェーンソー		1 台
	コードリール	3 芯	2 台
金物取付	各サイズスパナ		一式
	M ソケット	（インパクトレンチ用）	
	ラジエットレンチ	各種	
	インパクトレンチ	各種	
地 組	枕木	L = 1 0 0 0	適量
吊り込み	玉掛け用繊維スリング	4 t 用	8 本
	玉掛け用繊維スリング	2 t 用	8 本
	介錯ロープ	1 2 mm × 2 0 m	2 本
	シャックル	2 t 用	4 丁
	チェーンブロック	1. 5 t、0. 7 5 t 用	1 丁
	玉掛けワイヤー	φ 2 2、φ 1 8	各 2 本
建入れ直し	ワイヤー	1 2 φ	8 本
	ワイヤロープ専用固定器具	1 2 φ 用	8 丁
	レバー式チェーンブロック	0. 7 5 t 用	8 丁
	建ち直しサポート		適量
	シャックル	1. 5 t 用	8 丁
その他	掛矢（大）		2 丁